

# 教育事業別報告書

事業名	子供を支援する青年ボランティア養成研修
趣 旨	子供たちの体験活動を支援するボランティアの養成を図るために必要な知識・技術を習得する。
期 間	平成30年6月16日（土）～6月17日（日）
募集人員 (募集結果)	ボランティア活動に関心がある方 50名程度 (31名参加・内1名早退・・・登録28名)

## ① 事業の特色

研修内容として、国立青少年振興機構の基本カリキュラムに基づき、「青少年教育と青少年教育施設の役割」「青少年教育施設におけるボランティア活動の意義」「青少年についての理解」「もしものときの救命救急法」「活動プログラムの体験」などの講義・実習を行った。

受け身の講義・実習ばかりではなく、参加者が主体的に参加し、今後当所でボランティア活動に参加したくなる仕掛けを企画した。具体的には、教育事業における企画のアイデア出し、講義・実習の合間に仲間作りのゲームを行うなど、参加者自身が楽しく学ぶ場面を限られた日程の中で、できるだけ盛り込むように工夫した。



【講義の様子】



【企画アイデア出し】



【野外炊飯】



【救命救急講習】

## ② 事業の成果と課題

### <事業の成果>

- ・土日開催としたことと、高校にも直接広報活動を行ったことで、多くの意欲のある高校生がたくさん参加していた。
- ・講義や実習の合間に、仲間作りのゲームを取り入れたことで、参加者同士が打ち解け、仲間になるきっかけ作りができた。
- ・多くの職員が関わり、事業を紹介したことで、当所でのボランティア活動に意欲を示しており、最終日には法人ボランティア登録を希望し、今年度1つ以上の参加を約束した参加者が多数いた。

### <事業の課題>

- ・今年度から福島大学との連携し、授業「ボランティア論」の一環として学生の受講を確保していたが、担当教員との連絡調整がうまくいかず、福島大学からの参加予定者20人から、実際には10人になった。今後大学と連携して学生を募集するには、どちらが、何を、どの程度役割を担うのかを明確にして進めることが重要勢ある。
- ・前半に講義が多かったので、事業全体の流れを考えて、仲間作りの時間を早めに設定し、もう少し多くの時間を割いた方がよかった。
- ・サービスマネジメント実習や社会教育実習などボランティアに力を入れている大学などを調べ、ニーズに合った広報を行うことにより今後は、参加者増が見込まれる。

(企画指導専門職 増田 直人)